



本社を訪れた福田会長（前列中央）ほか
46期役員

自己研鑽と協力同心で

釧路あす
なるクラブ 福田会長ら来社

異業種の経営者が参加する経済研修団体「釧路あすなるクラブ」（会員49人）の平成20年度・第46期の福田紀幸会長（再任）ら新役員が28日、釧路新聞社を訪れた。同クラブは「郷土を愛し、仕事に徹し、人と和

す」を信条に結成され、釧路地方では先駆的な経営者の研修組織。4部制に基づき年間事業計画を決めて積極的な活動を続けている。今年46周年を迎える。19日に定期総会を終えた。

第46期の年間テーマは「自己研鑽と協力同心」を掲げている。福田会長は「確かに取り巻く経営環境は厳しく、釧路は大変な時代を迎えている。

こいつ時こそ会発足の原点に立ち返ることが大切で、会員お互いがしっかりと勉強、自己研鑽して、将来にわたって生き残りができる企業を目指したい」と語った。

本社には福田会長のほか佐藤誠一、柵木隆雄副会長、中島康秀事務局長、木元章義、及川雅順、結城太事務局次長が訪れた。

（伊藤豊）